



相互にカバーし合える職場環境の実現

横のつながりによる社内の活性化!

こだわりの近江牛を消費者に提供する同社は、自社ファームによる飼育・自社工場による加工・飲食店や小売店等における販売までの「一貫経営」を手がけている。多くの従業員が勤務する飲食店は彦根市を中心に7店舗まで拡大。規模が大きくなるに従い、社内における「横のつながり」が希薄になりつつあった。



そのような中、社内で行ったいくつかの新たな取組を実施した。まず1つ目は「定例の会議や打ち合わせの実施」。これまでは、業務上携わる同僚以外との交流が少なく、お互いどのような仕事をしているのか分からなかった。しかし、定期的に顔を合わせる機会を設けることで、他の部署や店舗との心理的な壁を取り除くことに成功。併せて、過去より導入していた「サンクスカード制度」が形式的ではなく、他の部署や店舗との間で更に活発に活用されるようになった。

2つ目は「ITの導入」。各店舗にタブレット端末を設置し、他の店舗における座席の混み具合をリアルタイムで確認できるようにした。これにより、自発的に店舗を超えた従業員サポートが実現。またそれを可能にするため、従業員のマルチタスク化への意識も社内が高まりつつある。

さらに3つ目としては「時差出勤の導入」がある。同社には、正社員・主婦等のパートタイム・外国人・アルバイト学生等さまざまなタイプの従業員が約210名在籍。それぞれの都合や会社の繁閑に応じた勤務シフトを活用することによって、従業員が柔軟にゆとりを持って働くことが可能となった。

従業員の意見の吸い上げ

従業員に対して年1回行う「従業員満足度調査」や、全従業員との面

談により、従業員の意見の吸い上げを行っている。これまで収集した様々な意見を分析したところ、その真因は「人手不足感から生じる不満」であることが分かった。特に、繁忙期である12月は人手不足感が最大化することにより、従業員も疲弊しストレスを感じていることが明確になった。

その課題に対する対策として、人員増だけでなく、「既存従業員にいかにも効果的に働いてもらうか」を考案。その過程において、前述の3つに代表されるような取組を行った。また、ゆとりを持って働いてもらうために、可能な範囲での増員を実施。同社が求める人材像に合致した候補者に働いてもらうため、高校・大学/短大・専門学校生へのインターン制度やWEB会議システムを活用した説明会や面接等を導入した。

離職率が大幅に減少 (2018年度:24.0%→2020年度:6.1%)

従業員の意見の吸い上げから実施した取組の結果、2018年度は24%もあった離職率が1年後には10.5%となり、2020年度の現状では6.1%まで減少。また、2020年度に実施した「従業員満足度調査」の結果も前年よりも大幅に改善した。さらに、これまではなかった事例として、「出産に伴う複数の男性従業員の休暇」の取得実績が挙げられる。この取得事例は、職場の雰囲気が「相互にカバーし合える職場環境」に変わってきたことの1つの裏付けであると思われる。

同社には「大きな夢」が2つ存在。一つは彦根に牧場を作り「彦根牛」のルーツを復活させる事。そしてもう一つは、五感で食を満喫できるテーマパーク「千成亭ヴィレッジ」を作る事。「近江牛の価値を発信し、彦根を全国から人が訪れる町にする」ために、従業員一同が気持ちよく働ける職場を目指している。



企業情報

【業種】 食品加工販売 飲食店業 【資本金】 4,800万円 【従業員】 210名
【所在地】 滋賀県彦根市平田町808
【HP】 <https://www.sennaritei.jp/>

●事業概要

食肉・食肉加工品の製造販売と飲食店業

●各種アワード 優良経営食料品小売店等全国コンクール農林水産大臣賞受賞(2001)、ドイツSUFFA食肉加工コンテスト金賞(2006)、DLGドイツ農業協会コンテスト金賞(2020)

